

2020年4月2日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

ポリイミドフィルム関連技術 特許総合力ランキング
トップ3は宇部興産、カネカ、東洋紡

弊社はこのほど、2020年3月19日までに日本の特許庁で公開された「ポリイミドフィルム関連技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用い、参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

高強度、耐熱性、電気絶縁性に優れたポリイミドフィルムは、電子部品、自動車、ディスプレイ、二次電池など、様々な分野で利用が進められています。今回の調査では、日本の特許庁で公開されているポリイミドフィルム関連技術全般について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計の結果、「総合力ランキング(※1)」では、1位 宇部興産、2位 カネカ、3位 東洋紡となりました(表1、図1)。

【ポリイミドフィルム関連技術 特許総合力トップ5】

表1

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	宇部興産	1434.2	270	78.9
2	カネカ	1215.6	266	74.2
3	東洋紡	974.9	196	69.7
4	日産化学	868.8	208	70.3
5	住友化学	852.6	94	80.3

1位宇部興産の注目度の高い特許には、「透明性、折り曲げ耐性、耐熱性、耐溶剤性などに優れ、極めて低い線膨張係数をもつポリイミド前駆体及びポリイミド」や、「優れたC-V特性を示し、フレキシブルディスプレイなど電子デバイスの基板に好適なポリイミドフィルム」などが挙げられます。

2位カネカは、「フレキシブルプリント配線板に適した多層ポリイミドフィルムおよびフレキシブル金属張積層板」や、「熱ラミネート時に生じるシワなど外観不良のない耐熱性フレキシブル積層板の製造方法」などが注目度の高い特許として挙げられます。

3位東洋紡の注目度の高い特許には、「ポリイミドフィルムと同程度の線膨張係数を有する無機層により積層された、寸法安定性、耐熱性、絶縁性に優れた積層体」や、「耐熱性、フレキシブル性を高いレベルで保持し、熱に対して反りのないポリイミドフィルム」などが挙げられます。

4位日産化学は「生産効率が高く、配向ムラが起きない、ポリイミド含有の液晶配向膜」などが、5位住友化学は「屈曲性に優れた積層フィルム」などが注目度の高い特許として挙げられます。

6位以下では、旭化成、東レ、日鉄ケミカル&マテリアル、日東電工、日立化成などの企業が上位にそれぞれランクインしています。

(注1) 総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが50点以上のものを合算しています。50点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです。

本分析の詳細については、特許・技術調査レポートの「ポリイミドフィルム関連技術」にてご覧いただけます。

【調査対象の特許群について】

1993年から2020年3月19日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

【価格】

内容		価格(税抜)	納期
特許・技術調査レポート		10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1~5社まで (社数に関わらず同一価格)	+20万円	+5営業日
	6社目以降、1社当たり	+4万円	+1営業日

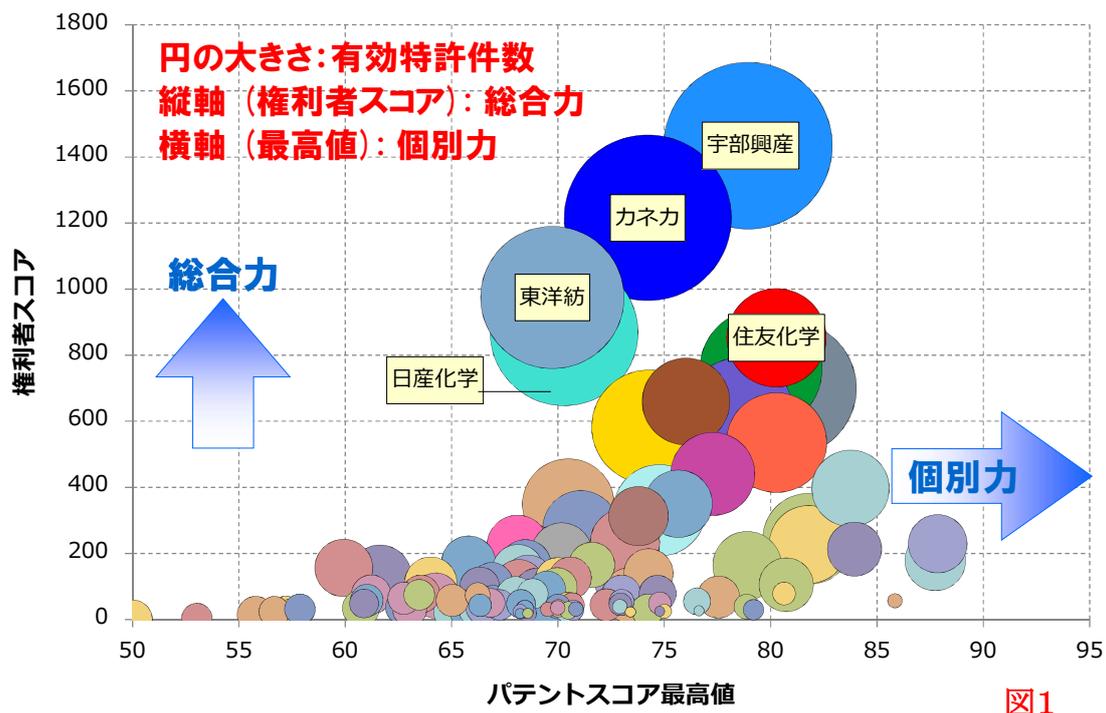
※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能。

(注) レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成いたします。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

【納品形態】

冊子1冊。CD-ROMにレポートのPDF、分析に使った特許リストCSVを収録。
レポートの収録内容およびサンプルは下記を参照。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>



<< 本件に関するお問い合わせ先 >>
 株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ
 Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271
 ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>